

平成26年2月7日

各 位

東京都港区西新橋一丁目6番21号インヴァスト証券株式会社代表取締役社長 川路 猛(JASDAQ コード:8709)

問合せ先:執行役員総合企画部長 田村 信司

(TEL 03 - 3595 - 4133)

平成26年1月度 月次概況(速報)のお知らせ

平成26年1月度の当社グループの月次概況を下記のとおりお知らせいたします。 なお、営業収益等は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 25 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	430	485	380	522	437	515	396	297	300	293	262	275
預り証拠金残高 (単位:百万円)	79,741	79,231	77,693	76,582	76,220	76,183	75,139	75,352	75,448	73,582	73,249	72,461

年 月	平成 26 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	319											
預り証拠金残高 (単位:百万円)	72,124											

- (注) 1. 預り証拠金残高は各月末時点における全事業の合計額であります。
 - 2. 当社は平成26年3月期より、Invast Financial Services Pty Ltd. を連結子会社としております。 同社は平成25年7月より事業を開始しておりますが、7月および8月の営業収益等につきましては、少額であったため、9月以降の営業収益等から連結表示しております。
 - なお、同社の決算日は12月31日であり、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。
 - そのため、平成26年1月度の営業収益等には、同社の10月の実績を反映しております。
 - 3. Invast Financial Services Pty Ltd. の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。

≪1月度の概況≫

1月の外国為替市場のドル円相場は、米国の経済指標が不調だったことや新興国の景気の先行きに不透明感が台頭したことなどから下落しました。

米国景気に注目が集まるなか、10日に米雇用統計の結果が事前予想を大きく下回って発表されると堅調だったドルは一転して下落に転じ、ドル円は年初の105円台から14日には102円台まで下落しました。

また、下旬には、アルゼンチンやトルコなどの新興国経済に対する不透明感が表面化し、世界的な株式市場の下落を背景に資金は安全資産の円に集中することとなり、ドル円相場は一時 101.75 円まで下落する場面もありました。

このような環境のなか、裁量取引のくりっく 365 と F X 24 は対円通貨を積極的に買う動きにより出来高を伸ばし、 シストレ 24 もストラテジーの運用成績が回復傾向にあることから終盤にかけて取引は活発になりました。

この結果、当月の当社の営業収益は315百万円となりました。